

基本目標 3 文化芸術に触れる環境の整備

施策 5

教育活動及び生涯学習の場における文化芸術への支援

子どもや青少年の様々な文化芸術の体験や感動は、生涯にわたり、文化芸術を理解する基盤となります。また、青年期・中高年期において、文化芸術から受ける体験や感動は、心を豊かにします。したがって、多様な文化芸術に接する機会を拡げるとともに、環境の整備を図る必要性があります。こうしたことから、学校教育や生涯学習の場における芸術鑑賞、体験学習、芸術家派遣等文化芸術に触れる機会の充実に努めます。また、多くの市民が参加、鑑賞できるイベント等の充実に図り、市民主体の文化芸術活動や公民館等を拠点に展開される地域活動を支援します。

現状と課題

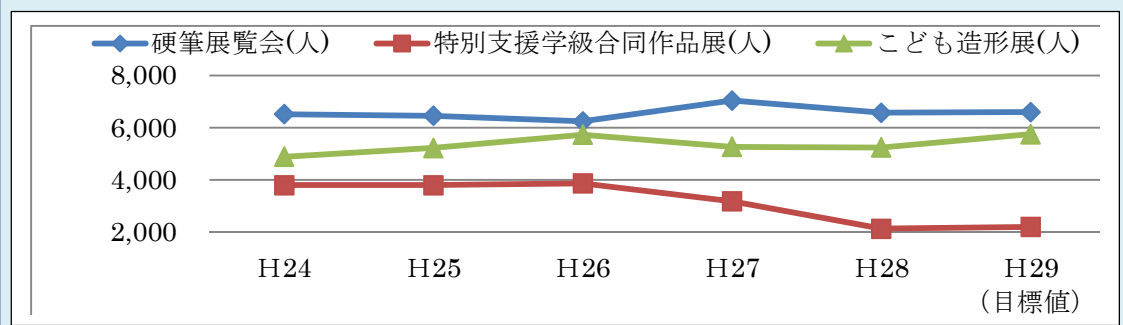
現在、各小学校では芸術鑑賞授業を実施し、文化芸術に触れる機会を提供しています。学校教育においては、一過性のものでなく継続的に文化芸術に触れられる環境の整備が求められます。また、働き世代にとって、ワークライフバランスの崩れが問題視されており、介護、育児、仕事等により自分に費やせる時間を設けることが出来ないのが現状です。専門的な知識を求める人がいる一方で、より体験的、短期的なものを提供することも重要といえます。

実績の推移

文化芸術施設と教育機関の連携

文化芸術施設は、教育機関と連携し、様々な展示会を実施しています。例えば、アトリアにおいて小・中・高校硬筆展覧会を実施、リア展示ホールにおいてこども造形展を実施、特別支援学級合同作品展はリアで実施していましたが、平成 28 年度よりアトリアで実施しています。会場によって展示方法等異なりますが、展示会の開催が児童生徒たちの文化芸術の活動の励みとなるよう工夫が必要です。

(入場者数)	H24	H25	H26	H27	H28	H29(目標値)
硬筆展覧会(人)	6,517	6,456	6,244	7,040	6,575	6,596
特別支援学級合同作品展(人)	3,800	3,800	3,869	3,182	2,130	2,200
こども造形展(人)	4,889	5,225	5,736	5,267	5,245	5,750



3-5-① 文化芸術に関する学習機会の充実

文化芸術活動を通じて得た感動は、その時々々に心を癒し、生きる力を与えてくれます。幼少期等に文化芸術が与える影響は、就業や生きがいなどとして一生続く可能性もあります。また、年齢を重ねていく中で出会う文化芸術は、今までと違った視点を持つことができ、日々の生活を楽しませてくれます。このことから生涯における文化芸術活動は、生きがいにつながるため、多種多様な学びの場が必要となります。したがって、文化芸術に関する学習機会の充実を図ります。

事業 3-5-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
校外学習事業 (劇団演劇鑑賞)	事業概要	市立小学校5年生を対象とし、劇団四季・(財)舞台芸術センターによる劇団演劇鑑賞をすることから生まれる舞台の感動を通して道徳教育や情操教育に寄与するとともに、優れた演劇に触れるきっかけを与える。					継続
	改善の方向性	演劇の内容を変更しつつ、質の高い芸術に触れる機会を提供します。					取組状況 (実施中)
	4,859人	4,943	4,972	5,000	5,205	5,107	指標 (参加者数)
音楽鑑賞教室 支援事業	事業概要	市立小学校6年生を対象とし、音楽に適した施設において、様々な邦楽やオーケストラの生の響きを体感させるため音楽鑑賞教室を実施する。					継続
	改善の方向性	音楽に最適な場所での本格的な音楽鑑賞を工夫して実施します。					取組状況 (実施中)
	4,950人	4,904	4,943	4,972	5,000	5,205	指標 (参加者数)
放課後子供 教室推進事業 (文化芸術 関連)	事業概要	市立小学生を対象に、放課後や休日に学校の教室や校庭等を利用し、スポーツや文化芸術活動、体験活動等を行う。					継続
	改善の方向性	新規開設学校区を増やし、参加人数の増加を図ります。					取組状況 (実施中)
	473回	610	720	830	940	1,028	指標 (事業回数)
	21,390人	25,000	28,000	31,000	34,000	36,500	指標 (延べ参加人数)

事業 3-5-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
市民大学事業 (文化芸術 関連) 【再掲】 →2-3-④	事業概要	市内外の短大・大学等や公民館などの社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等をテーマとした講座を開催する。					継続
	改善の方向性	講座の開催日時を工夫し、講座内容を充実させます。					取組状況 (実施中)
	52 日	52	52	52	52	52	指標 (文化芸術 関連講座延 べ開催日 数)
	1,856 人	1,860	1,860	1,860	1,860	1,860	指標 (文化芸術 関連講座延 べ参加者 数)
盛人大学事業 【再掲】 →1-1-④ 2-3-④	事業概要	50歳以上のかたを対象に交流と地域活動の機会を提供する。社会教養コースにおいては、文化や芸術に親しみ、知識を活かすことで卒業後の社会貢献活動の活性化を図る。					継続
	改善の方向性	公開講座の実施や広報活動により市民への周知・浸透を図るとともに、社会貢献団体などと連携しながら講座内容の充実を図ります。					取組状況 (実施中)
	295 人	300	300	300	300	300	指標 (受講者数)

3-5-② 教育機関等との連携強化

学校教育の場における机上の勉強だけではなく、外部の専門家から得る刺激は児童・生徒にとって様々な効果を生み出します。それぞれの専門の研究者が在籍する文化財センターやアートギャラリー等が学校教育の場と連携することにより、川口市の文化・芸術の土壌を育て多様な可能性の創出につながります。

また、市内の文化芸術に携わる方を講師として学校に紹介する「指導者活用事業」は地域に密着した文化芸術の振興であり、巧みな文化芸術に触れることが可能となり、継承にもつながります。

このように各施設において、学校との連携につながる多種多様な企画に取り組みます。

事業 3-5-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化財センター施設運営事業	事業概要	文化財資料を調査整理し、活用・収蔵を行うとともに、市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する講座や企画展を開催する。					継続
	改善の方向性	郷土資料館と連携した企画展を実施し、接する機会を増やします。					取組状況(実施中)
	4,903人	4,050	4,100	4,150	4,200	4,250	指標(来館者数)
郷土資料館施設運営事業	事業概要	市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝える。					継続
	改善の方向性	企画展の充実、文化財マップの活用など、センターと連携し実施します。					取組状況(実施中)
	3,874人	3,550	3,600	3,650	3,700	3,750	指標(来館者数)
歴史的建造物施設運営事業【再掲】→1-2-②	事業概要	国登録有形文化財である旧田中家住宅の保存・活用を行う。					継続
	改善の方向性	文化財としての理解と関心を高く引き出します。					取組状況(実施中)
	7,065人	6,500	7,000	7,500	8,200	9,000	指標(来館者数)
アートギャラリー教育機関連携事業	事業概要	市立小・中学校を対象にアーティスト等を派遣し、特別な授業を行うアーティスト・イン・スクール(AIS)を実施する。また、小学校の校外学習において本施設を利用してもらうことにより文化芸術に触れる機会の提供に資する。					継続
	改善の方向性	まだまだ AIS の実施校が少数であるので、事業の趣旨を理解してもらうため学校に対してさらなる広報周知を実施します。					取組状況(実施中)
	1,367人	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	指標(AISの来場者数)

事業 3-5-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35		
文化芸術 指導者活用 事業 【再掲】 →1-1-③	事業概要	豊富な技芸のある文化芸術団体の指導者を学校に紹介し、部活動、授業等の教育活動一環として活用する。						継続
	改善の 方向性	学校との連携体制をつくり、紹介数を増やします。						
	1回	4	5	6	7	8		取組状況 (実施中) 指標 (紹介数)

3-5-③ 郷土学習の推進

郷土学習は、古くから伝わる文化を大切にし、後世に残そうとする意識を育て、さらには、地域への関心・愛着を生み出します。文化財センターや郷土資料館では、文化財資料の収集や整理作業を実施し、文化財として展示・活用できるように進めています。

また、現在、宮崎市の小学校との交流事業において、両市と縁の深い歴史上の偉人「安井息軒」の業績を知ることにより、地域の歴史や風土を学ぶことで、郷土愛を育み、将来を担う人材の育成を目指しています。

これらの事業は継続して実施することで、郷土への愛着の醸成につながるものと考えます。川口市にはどのような人が住み、どのように生きてきたか、その足跡をたどることで、郷土をより深く身近に感じてもらえるよう努めます。

事業 3-5-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化財センター施設運営事業【再掲】 →3-5-②	事業概要	文化財資料の調査・整理作業を実施し、活用・収蔵を行う。また、文化財に関する講座等の開催のほか、企画展を実施する。					継続
	改善の方向性	学校連携やその他文化財施設と連携を図り、来館者の増加に努めます。					取組状況(実施中)
	4,903人	4,050	4,100	4,150	4,200	4,250	指標(来館者数)
郷土資料館施設運営事業【再掲】 →3-5-②	事業概要	文化財資料の収蔵及び、それらを活用した展示・学習会の開催を行う。					継続
	改善の方向性	企画展の内容のさらなる充実に努めます。文化財案内マップ等の活用により来館者の増加に努めます。					取組状況(実施中)
	3,874人	3,550	3,600	3,650	3,700	3,750	指標(来館者数)
文化交流使節団支援事業	事業概要	市立小学校6年生を対象とし、宮崎市への児童派遣及び宮崎市からの児童の受入れを行い、相互のまちに縁の深い儒学者に係る史跡等の見学及び地元児童との文化交流を行う。					継続
	改善の方向性	「安井息軒」は本市に縁の深い儒学者であるが、地域によっては認知度が低いことから、児童に対する効果的な学習方法や市民への周知方法について検討します。					取組状況(実施中)
	28人	30	30	30	30	30	指標(応募人数)
	20人	20	20	20	20	20	指標(参加者数)

事業 3-5-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
歴史自然 資料館活用 事業 【再掲】 →2-3-①	事業概要	市内の文化芸術団体の方を講師とし、歴史自然資料館の特性を生かした多彩なジャンルのワークショップを実施する。					継続
	改善の方向性	多彩なジャンルに興味を持ってもらうため、実施内容を検討します。					取組状況 (検討中)
	-	3回	3	3	3	3	指標 (イベント 開催数)

3-5-④ 鑑賞事業や文化芸術を身近に接する機会の充実

学校教育の場において、自らが作成した絵画や作品が鑑賞されるということは、自己肯定感・自己実現の欲求をみたされ、人に認めてもらえたという自信につながり、今後の文化芸術活動を続けていく上での励みにつながります。

また、美術家協会選抜展は美術家協会会員の中で切磋琢磨し合い、その中から選ばれた会員の作品が展示されます。

このように、地元の身近な芸術家の素晴らしい作品を鑑賞する機会、そして、仲間と高め合う場として、作品展の実施を継続し、本市の文化芸術の発展に努めます。

事業 3-5-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
川口こども造形展事業	事業概要	川口総合文化センターにおいて市立幼・小・中・高校の幼児及び生徒の図工美術の作品を展示する。					
		▶					継続
	改善の方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	83 校	81	81	81	81	81	指標 (参加学校 (園)数)
5,245 人	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750	指標 (来場者数)	
特別支援学級合同作品展事業 【再掲】 →1-1-④ 2-3-①	事業概要	市立の小・中学校に設置する特別支援学級在籍の児童生徒の学習の成果物を作品展示する。					
		▶					継続
	改善の方向性	特別支援教育を受ける非支援者の芸術性の高い作品を広く公表し、その能力を引き出し、また、他者の接触を増やす機会を創出します。					取組状況 (実施中)
	27 校	31	31	31	31	31	指標 (参加学校数)
2,130 人	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	指標 (来場者数)	
川口の 図工まなび展 事業	事業概要	市立アートギャラリーにおいて市立小・中・高校の児童生徒の各種展覧会等の優秀作品を展示する。					
		▶					継続
	改善の方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	59 校	60	60	60	60	60	指標 (参加学校数)
1,409 人	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	指標 (来場者数)	

事業 3-5-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
中学生の ART CLUB 作品展事業	事業概要	市立中学校の美術部及びそれに類似する部活動の発表展示を行う。					
		▶					継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	24 校	26	26	26	26	26	指標 (参加学校数)
	1,094 人	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	指標 (来場者数)
川口市小・ 中・高校 硬筆展覧会 事業	事業概要	書写・書道（硬筆）に関する市立小・中・高校の児童生徒の各校優秀作品ならびに県展覧会出展・入賞作品を展示する。					
		▶					継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	6,575 人	6,650	6,650	6,650	6,650	6,650	指標 (来場者数)
川口市小・ 中・高校 書きぞめ 展覧会事業	事業概要	書写・書道（習字）に関する市立小・中・高校の児童生徒の各校優秀作品ならびに県展覧会出展・入賞作品を展示する。					
		▶					継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	4,637 人	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	指標 (来場者数)
美術家協会 選抜展事業	事業概要	川口市美術家協会の各部門から選抜された会員の作品を展示する。					
		▶					継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	1,213 人	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	指標 (来場者数)

基本目標 3 文化芸術に触れる環境の整備

施策 6

文化芸術施設の充実及び活用の推進

文化の発展拠点であるリリアや、アートの発展拠点であるアートギャラリー・アトリアなどにおいて、優れた文化芸術活動に親しむ機会を提供することで、文化芸術意識の向上を計ります。アートギャラリー・アトリア事業の更なる内容充実を図り、市民の文化芸術の鑑賞や創作体験の場を提供します。市民の幅広い文化芸術活動の活性化を計るため、ハード・ソフトの両面から施設の整備・充実を図り、作品発表の場としてより多くの方々に利用できるよう取り組みます。

現状と課題

市民意識調査では、文化芸術活動の環境の充実に対する市民ニーズは、市政全体の中では低いものの、一定の数値を示しており、その中でも特に40代以下の若い世代から、文化芸術活動、そして生涯学習活動がしやすい環境を望む声が多い傾向にありました。

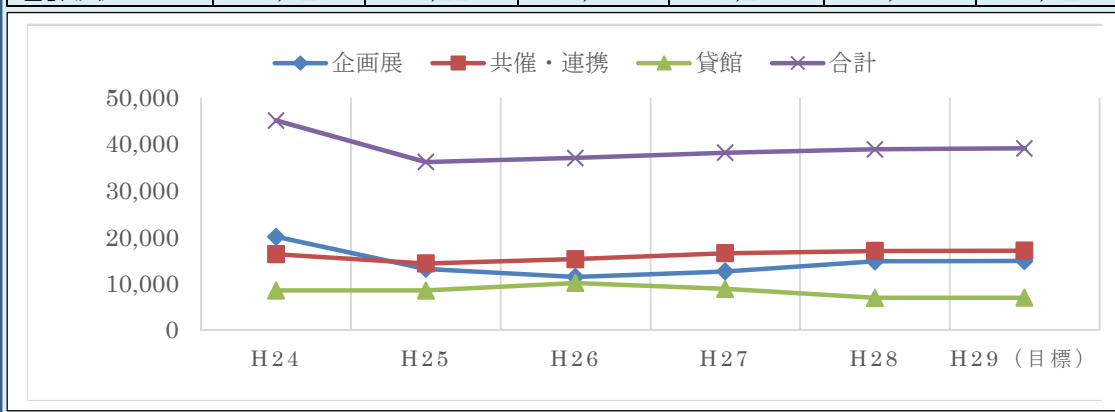
また、施設利用については、設備の老朽化への対応や予約のしやすさなどを求める声や発表の場を求める意見もありました。今後、新規施設及び既存施設の整備等について対策が求められます。

実績の推移

アートギャラリー事業運営・企画関係

アートギャラリーにおける共催展の入場者数は、連携強化により伸びているものの、自主企画による企画展が減少傾向にあります。展示方針に沿った見直しを検討していく必要があります。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標)
企画展(人)	20,155	13,226	11,523	12,673	14,856	14,930
共催・連携(人)	16,385	14,408	15,336	16,596	17,075	17,160
貸館(人)	8,583	8,589	10,215	8,949	7,004	7,039
合計(人)	45,123	36,223	37,074	38,218	38,935	39,129




 主な取組

3-6-① 文化の発展拠点であるリリア、アトリアの整備・充実

本市には、文化の発展拠点として川口総合文化センター・リリア、アートギャラリー・アトリアがあります。これらは地域に根ざした文化活動の拠点として、その役目を担っており、日頃の練習や発表、交流の場として活用されています。

しかし、施設の利用者からは、音や色の芸術性を追求していく中で、その時勢に応じた最先端の設備や発表・練習の場の充実が求められることもしばしばあります。すべての要望に応えるということは難しい点がありますが、耐久年数や今後の施設の方針に即した上で研究を続け、施設の充実に努めていくことが重要です。

また、より長く快適な利用が可能になるよう、将来的な視点での施設の長寿命化計画を策定し、それを念頭に修繕・改修等を実施していく必要があります。

これらの課題に取り組むことで、本市の文化芸術発展の一助になるよう努めます。

事業 3-6-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35		
アート ギャラリー 施設運営	事業概要	市立アートギャラリーの施設及び設備の改修等を行う。						継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の維持補修を実施します。						取組状況 (実施中)
	94.9%	96.4	96.9	97.4	97.9	98.4	指標 (貸館利用率)	
総合文化 センター 維持補修	事業概要	川口総合文化センター施設及び設備の改修等を行う。						継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の維持補修を実施します。						取組状況 (実施中)
	77.2%	87.0	90.0	93.0	96.0	100	指標 (利用率)	

3-6-② 文化芸術関連施設の適切な管理・運営

それぞれの特徴を有する文化施設・社会教育施設は、利用者のニーズが多様化する中、きめ細かな対応が求められています。所有する機能を最大限に生かした上での運営の見直し・改善に加え、新たな事業展開に結びつくよう検討しなければなりません。例えば、図書館では、本の福袋の貸し出し企画がありましたが、普段、自らが手にとらない本との出会いのきっかけを作ることができました。このような今あるものを最大限に活用し、施設の新たな魅力につなげていく取組は今後、ますます必要になります。



また、市民から愛され、活用される施設であり続けるため、運営の見直しとして、利用者のニーズや時勢に応じ、利用料金の改定や事業内容の見直しを研究していきます。

事業 3-6-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35		
アート ギャラリー 事業運営 【再掲】 →2-3-①	事業概要	市立アートギャラリーの管理運営業務を行う。						継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の管理運営を実施します。						取組
	17,075 人	17,332	17,419	17,506	17,594	17,682	指標 (共催・ 連携事業の 入場者数)	
アート ギャラリー 施設管理	事業概要	市立アートギャラリーの管理運営を行う。						継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の管理運営を実施します。						取組状況 (実施中)
	94.9%	96.4	96.9	97.4	97.9	98.4	指標 (貸館利用率)	
総合文化 センター 指定管理	事業概要	川口総合文化センターの管理運営を指定管理者により行う。						継続
	改善の 方向性	利用者のニーズに応じた施設の運営の実現に努めます。						取組状況 (実施中)
	77.2%	87.0	90.0	93.0	96.0	100	指標 (利用率)	
文化財 センター 施設運営 【再掲】 →3-5-② 3-5-③	事業概要	市立文化財センターの管理運営を行う。						継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の管理運営を実施します。						取組状況 (実施中)
	4,903 人	4,050	4,100	4,150	4,200	4,250	指標 (来館者数)	

事業 3-6-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35		
郷土資料館 施設運営 【再掲】 →3-5-② 3-5-③	事業概要	市立郷土資料館の管理運営を行う。						継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び文化活動が行えるよう施設の管理運営に努めます。						取組状況 (実施中)
	3,874 人	3,550	3,600	3,650	3,700	3,750	指標 (来館者数)	
歴史的 建造物 施設運営 【再掲】 1-2-② 3-5-②	事業概要	国登録有形文化財である旧田中家住宅の保存・活用を行う。						継続
	改善の 方向性	文化芸術活動の発表の場としての活用をはかることで、文化財としての理解と関心を高く引き出します。						取組状況 (実施中)
	7,065 人	6,500	7,000	7,500	8,200	9,000	指標 (来館者数)	
歴史自然 資料館 施設運営	事業概要	歴史自然資料館の管理運営を行う。(平成 30 年より開館)						継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び文化活動が行えるよう施設の管理運営に努めます。						取組状況 (実施中)
	-						指標 (入館者数)	
公民館 施設運営 【再掲】 →1-1-⑤	事業概要	住民への学習機会の提供及び新たな交流の場を提供する。						継続
	改善の 方向性	学習ニーズが多様化しているため、事業内容の充実・改修等を検討します。						取組状況 (実施中)
	860 件	830	830	830	830	830	指標 (年間教案件数)	
図書館 施設運営	事業概要	市民の知的自由を支え、知的要求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援する。						継続
	改善の 方向性	市民の生涯学習へのニーズが多様化しているなか、図書館機能を生かした事業を推進し、施設、設備や補助を充実していきます。						取組状況 (実施中)
	1,800,432 人	1,847,461	1,838,039	-	-	-	指標 (入館者数)	

3-6-③ 文化芸術関連施設に関する情報機能の充実

文化芸術活動の練習・発表のため、日常的に公共施設を利用する人にとって、施設の申し込み予約は、より手軽で使いやすく、わかりやすいことが求められます。公民館は予約システムにより統一されているものの、運営主体や担当部署によって、予約方法は異なります。既存のシステムをより利用者のニーズに即した形に近づけるよう研究し、利便性の向上に努めます。

事業 3-6-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
公民館施設整備 (施設予約システム)	事業概要	利用者の利便性向上のため、キオスク端末・携帯電話・パソコン等から社会教育施設の予約を行う。					継続
							
	改善の方向性	利用者が快適に使用できるよう、利便性の向上に努めます。					取組状況 (実施中)
	150,521件	109,000	109,000	109,000	109,000	109,000	指標 (年間利用件数)
2,529,286人	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	指標 (年間利用者数)	
総合文化センター 施設運営	事業概要	施設利用に係る予約を窓口で行う。					継続
							
	改善の方向性	利用者が快適に使用できるよう、利便性の向上に努めます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)

3-6-④ 生涯学習活動の拠点である公民館の整備・充実

文化芸術活動を行う多くの方は、生涯学習活動の拠点である公民館等の社会教育施設を活動拠点として日頃の練習等を行っています。しかし、「文化事業参加者・利用者アンケート」の自由記述欄では、公民館の修繕の必要性について多くの人から意見があり、対策の検討が求められます。

したがって、川口市公共施設等総合管理計画により「利用者の安全性に配慮し、耐震補強の実施や早期の段階で損傷箇所、老朽箇所を把握し、計画的な改修を実施していきます。」「更新時期を迎える施設については、それぞれの地域性に配慮しながら、統廃合や再配置などによる施設総量の適正化を検討していきます。」と定め、対策を検討しています。

事業 3-6-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
公民館施設整備（文化会館等含む）	事業概要	安全で快適な生涯学習の場を提供するため、施設の老朽化に伴う点検及び改修工事を行う。					継続
	改善の方向性	各種設備が老朽化しているため、点検及び改修を順次実施していきます。					
							指標（-）